



2020.7.1.

7月 ちとせだより

幼保連携型認定こども園
神戸 YMCA ちとせ幼稚園

例年の梅雨明けは7月20日頃ですから、これから3週間くらいはぐずついたお天気が続きそうです。例年ならもう園庭にはプールがあって（昨年設営は6月14日）、職員室では「高倉台は水温が上がりにくいね」、「今日は湿度が高いから気温が低くても平気だね」などと言っていたはず。毎年この時期に施設見学に来る須磨区役所の方々から「幼稚園のサイズじゃないですね」と言われる大きなプールも、特に年少の皆さんには来年までお預けになってしまいました。申し訳ありません。

六甲山と余島のキャンプ、お泊まり保育も中止せざるを得ません。年上のご兄弟姉妹に卒園児が居る年長児には「憧れの余島キャンプ」だったかもしれません。本当に残念です（園長は自分が行きたかっただけじゃないのか？と言われるかもしれませんが…）。

「当たり前だったことが今は出来ない」そんな毎日ですが、でも「何にもできない」訳ではありません。幼稚園も、プールが無いのなら園庭を全部「水遊び場」にしてしまえばいいんじゃない？と、先生たちは一所懸命に準備しています。

「NPOという生き方」（PHP新書2005年）で、著者の島田恒さんは現代を「経済合理主義があまりにもプレゼンス（存在感）を高めてゆく」と分析しています。この著書では「経済合理主義とは別の価値観を確立していく軸としてNPOがあるべきだ」とされているのですが、図らずも今回のコロナ禍では、経済合理主義に依拠しない、新しい生き方が求められる事になりました。利益よりも大切なことは何か、「損か得か」ではない判断基準とは、多数派に迎合しない価値観とは。

新型コロナウイルス感染症は、ワクチンが開発されて一般に使用されるようになれば、インフルエンザと同じような感染症の1つとなり、今回のような行動自粛には至らなくなる、と考えられています。その時、社会生活が元に戻っても、今回体験している様々な「チャレンジ」は、私たちに何か新しい価値観を残すように思えます。「去年はあれができたのになあ」確かに残念ですが、「今年のこれも面白かったよね」と思える夏にしたいと思います。

年主題 『こころが満たされる』

<年主題聖句> 「喜びと平和であなたがたを満たす」

(ローマの信徒への手紙 15章13節)

7月主題 『やってみる』

<聖句> 「今日を喜び祝い、喜び踊ろう。」

(詩編 118編24)